

この公表資料は当店ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/kagoshima/>



2023年2月3日
日本銀行鹿児島支店

鹿児島県金融経済概況

【概要】

鹿児島県の景気は、持ち直している。

すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、持ち直している。観光は、着実に持ち直している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。

生産は、弱めの動きとなっている。

企業部門の動向を短観（12月＜鹿児島・宮崎両県集計分＞）で見ると、景況感は、改善している。設備投資は、高水準で推移している。

こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として緩やかに改善している。

【各論】

1. 個人消費

百貨店・スーパー販売額、家電販売額、乗用車新車登録台数（含む軽自動車）のいずれも、前年を上回って推移している。

2. 観光

主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を下回った。

3. 公共投資

公共工事請負金額は、前年を下回って推移している。

4. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、分譲を中心に前年を上回った。

5. 生産

鉱工業生産指数（季節調整済）は、食料品、窯業・土石製品を中心に前月を下回った。

6. 雇用・所得環境

有効求人倍率（季節調整済）は、上昇した。

現金給与総額は、前年を下回って推移している。

常用労働者数は、前年を上回って推移している。

7. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回って推移している。

8. 金融面

預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、前月並みとなった。

企業倒産件数は、前年を上回った。

以 上